愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	宗教と社会		
担当者(Instructors)	宇田川 千帆	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業の目的は、宗教がなぜ社会に存在するのか、宗教と社会はどのように関係しているのかということを、日本とインドの神話を通して、自分で探求することにある。今年度は、前半に日本の『古事記』について学び、2024年6月23日に行われる神社検定初級(オンライン受験)を目指す。後半は、インド神話の一つである『バガヴァッド・ギーター』について学び、日本とインドの神話を通して、宗教と社会の関係性を探求する。自分の国の文化に精通する神社検定資格(検定料は別途必要)を取得することができ、神話の頂点とされるインド神話についても知る機会となる。

■授業形態・授業の方法(Class form)			
授業形態(Class form)	講義		
授業の方法(Class method)	授業は、対面授業とオンライン授業を半々で行う。グループワークを行い、そのグループで発表をしてもらう。 各回に神話の内容を一つ習得し、その内容を、自他ともに楽しく覚えることができるように、グループで次の回 に発表してもらう。授業・グループ発表・小テストをセットとし、神話の内容をしっかり把握し、神社検定や期 末テストへの習熟に役立てる。		

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)				
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分 (Media)	
第1回	授業の説明と発表グループづくり	授業がどのような内容で、どのように行われるかを説明する。グループ毎に課された神話の内容(前半は古事記1章ずつ)を発表してもらうため、そのためのグループ作り、グループミーティング。 発表する章を決める。		
第2回	「第1章 天地初めて発けし時」 を読 む	「神社検定」副読本 マンガならわかる!『古事記』(扶桑社)の 第1章を解説。グループワークと発表(時系列で話の内容を口伝で きるように、グループ内の脳を協力的に合わせる。次回発表グルー プは担当決め等)。		
第3回	グループ発表「第1章 天地初めて発け し時」	発表では、時系列に物語がわかりやすく発表されているか。重要 な用語が使用されているかが評価のポイントになる。発表後に、理 解度を確認するための小テストを行う。		
第4回	「第2章 天岩屋戸」 を読む	詳細は第2回と同じ。		
第5回	グループ発表 「第2章 天岩屋戸」	詳細は第3回と同じ。		
第6回	「第3章 宝剣あらわる」 を読む	詳細は第2回と同じ。		
第7回	グループ発表 「第3章 宝剣あらわる」	詳細は第3回と同じ。		
第8回	「第4章 国譲り」 を読む	詳細は第2回と同じ。		
第9回	グループ発表 「第4章 国譲り」	詳細は第3回と同じ。		
第10回	「第5章 天孫降臨」 を読む	詳細は第2回と同じ。		
第11回	「グループ発表 第5章 天孫降臨」と 中間テスト	詳細は第3回と同じ。6月23日の神社検定初級オンライン受験に向けて(受験しない人も、中間テストになる)、第1章から5章までの確認テストを行う。本テキストで行う初級検定は初めてになるため、自主学習必要。		
第12回	ゲストスピーカーによる講演(スピー カー未定)	本授業では、宗教と社会を通して自身のこれからの人生を考え、 そのヒントになるものを得ることが期待される。宗教とは直接関係 のない講演であっても、すべてを自身の内なる省察に活かすことが 推奨される。		
第13回	「バガヴァッド・ギーター」 を読む	第12章バクティ・ヨーガ(信愛、もしくは帰依の道)の解説。グ ループワークとグループミーティング。発表の順番を決める。		
第14回	「グループ発表(3グループ)第12章に ついて」	3つのグループに「バガヴァッド・ギーター」第12章について発 表してもらう。		

第15回 「グループ発表(2グループ)2日目 第12章についてとまとめ」 神話のもつ意義を考え、それらをこれからの人生にどのように活かしていくかを考え、全授業を振り返る。全グループ発表を通じて考えたことをディスカッションする。

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

本授業のテキストは容易なものを使用するため、第1回目の授業が始まる前までに『マンガならわかる!古事記』の第5章まで通読する。バガヴァッド・ギーターについてはプリントにて配布する。また、次の授業で行われる章を読み返し、わからない部分は、他の文献をあたるか、インターネット(推奨しないが可)等で調べておく(毎週2時間)。授業後にグループ発表のための準備を個人・グループでする(毎週2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・グループ発表は、全体の発表が終わってからまとめてフィードバックし、全体で共有します。 ・小テストを含む筆記試験は、解説とともに解答例を提示し、採点の上で返却します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)			
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)	
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	日本神話の『古事記』や、インドの『バガヴァッド・ギーター』について、自分 の言葉でどのようなものかを表現することができる。	

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in- class exam)	その他(Other)
		40%		60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他の60%は、中間テストとして、神社検定前の確認テストの40%と、授業参加・貢献度を20%とする。

■テキスト(Textbooks)			
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)	
1	「神社検定」副読本 「マンガならわかる!『古事記』」扶桑社	978-4-594-09659-5	
2			
3			
4			
5			

■参考図書(references books)			
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)	
1	阪本是丸・石井研士編「プレステップ 神道学」弘文堂	978-4-335-00079-9	
2	倉野憲司校注「古事記」岩波文庫	10-4003000110	
3	上村勝彦訳「バガヴァッド・ギーター」岩波文庫	10-4003206819	
4			
5			